

## 国産 SAF プロジェクトが成功

～2050 年 CO<sub>2</sub> 排出量実質ゼロに向け、国産 SAF の普及に貢献していきます～



2021 年 6 月 18 日  
第 21020 号

- 6 月 17 日、国産 SAF (持続可能な航空燃料) 2 種類を同時に搭載した初めてのフライトを実施しました
- 2050 年までの CO<sub>2</sub> 排出量実質ゼロに向け、持続可能な社会の実現に貢献していきます

JAL では 2021-2025 年度 JAL グループ中期経営計画(\*1)において掲げた、2050 年の CO<sub>2</sub> 排出量実質ゼロに向けたロードマップに基づき、脱炭素社会を目指すステークホルダーとの協働により、SAF (Sustainable Aviation Fuel: 持続可能な航空燃料) の開発・活用に取り組んでいます。

(\*1) 2021 年 5 月 7 日付プレスリリース第 21012 号「2021-2025 年度 JAL グループ中期経営計画を策定」参照  
URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202105/006065.html>

国産 SAF の商業化へ向けた第一歩として、今回、実証プラントで生産された国産 SAF が品質検査に合格し、実際の運航で使用可能となりました。

今般、6 月 17 日の JL515 便(東京(羽田)発、札幌(新千歳)行き)にて、国産 SAF 2 種類を同時に搭載したフライトを実施しました。本フライトにより、これまで公的機関、SAF 製造事業者、サプライチェーン企業、航空会社などが長年力を合わせて取り組んできた国産 SAF プロジェクトが成功しました。



### 【国産 SAF プロジェクトの概要】

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「バイオジェット燃料生産技術開発事業」において、JAL は、三菱パワー株式会社/東洋エンジニアリング株式会社/株式会社 JERA の 3 社、および株式会社 IHI が各々製造した国産 SAF 計 3,132 リットル(混合率 9.1%)を既存のジェット燃料に追加搭載し、フライトを実施しました。前者は木くず、後者は藻を原料とし、2 種類の SAF を同じ便に搭載したのは日本初の試みでした。

### 【これまでに実施した SAF 搭載フライト(一部)】

※ 航空用ジェット燃料に関する国際規格(ASTM D7566)には、合成燃料の原料と製造方法に応じた規格が Annex として 7 種類定められており、うち 5 種類の SAF の搭載実績があります。また、かつこ内は Annex の番号。国際規格の詳細については、国土交通省ウェブサイト内「航空機運航分野における CO<sub>2</sub> 削減に関する検討会」第 1 回(2021 年 3 月 22 日)資料 2-1 34 ページ参照。URL: <https://www.mlit.go.jp/common/001395880.pdf>

- ・2009年1月： アジア初となるカメリナ(非可食植物)を原料にした SAF を用いた試験飛行に成功(A2)
- ・2017年11月： シカゴ・オヘア国際空港から成田空港への JAL 便に SAF を搭載(A5)
- ・2019年1月： サンフランシスコ国際空港から羽田空港への JAL 便に SAF を搭載(A2)
- ・2019年6月以降：

エアバス A350 型機の受領に際し、フランス・トゥールーズのエアバスの工場から羽田空港までのデリバリーフライト 5 機に SAF を搭載(A3)

- ・2020年3月： 衣料品の綿を原料にした SAF の製造に国内で初めて成功(A5)
- ・2021年2月： 国産 SAF を搭載した国内初のフライトを実施(\*2)(A5)

(\*2) 2021年2月5日付プレスリリース「【映像報告】日本初、衣料品の綿から製造した国産バイオジェット燃料を搭載したフライトを実施しました」参照 URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202102/005941.html>

- ・2021年6月： 国産 SAF 2 種類を同時搭載(A1、A7)



## 【SAF の実用化に向けて】

JAL グループは、2050 年までの CO2 排出量実質ゼロに向け、2030 年には CO2 総排出量を 2019 年度比で 90%に抑えるため、全燃料の 10%を SAF に置き換えることを目指しています。

海外では、当社が出資をしている米国の Fulcrum BioEnergy, Inc.などから供給される SAF の搭載を計画しています。また、日本国内で SAF 搭載を普及させていくために、さまざまなステークホルダーをつなぎ、製造・供給体制を構築することに加え、持続可能な価格帯で活用できるようにすることにも貢献していきます。その取り組みとして、廃棄プラスチックなどから、日本で SAF を製造・販売することについての事業性調査を国内企業と共同で実施しています(\*3)。

(\*3) 2020年2月25日付プレスリリース「日本における代替航空燃料の製造・販売事業に関する事業性調査の実施について」参照 URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202002/005501.html>

JAL は、豊かな地球を次世代に引き継ぐため、あらゆる場面で環境の保全に取り組んでまいります。

以上

